

森のおくりもの3月



アズマイチゲ（キンポウゲ科）



3月は大雨で始まりました。春を告げるかのようにさえずり始めている鳥の声に混じって、聞きなれない声を耳にすることがあります。注意して見てみると、いつも見かける鳥なのにメスがオスに甘えているような声を出していたり、もうすぐ北へ戻る冬鳥たちがさえずりの練習のような声を出していることもあります。また、巣作りをする場所を探してあちこちのぞいていたり、巣材を集めていたりすることもあります。寒さも緩んできた森をゆっくり歩いて、彼らの動きから春を感じてみませんか。

【写真・文 早坂 徹】

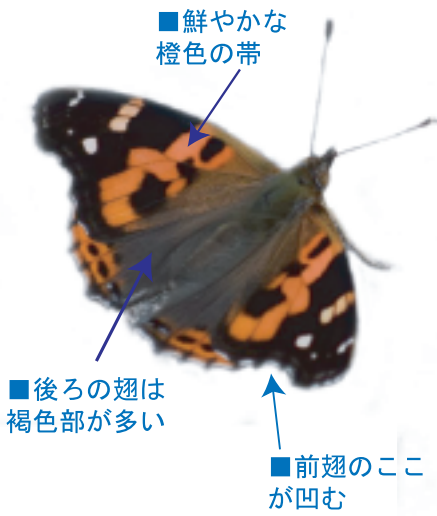
成虫で寒さに耐え忍んだ アカタテハ



やっとやっと日差しに春のぬくもりを感じられるようになった頃、今までいったいどこに潜んでいたのか、全く見当が付きませんが、成虫で越冬していた蝶が日向ぼっこをする姿が見られるようになります。その中でも、赤色が目立つアカタテハを今回は紹介します。

よく見られる場所はヨシの湿地の木橋の上やいこいの道、太白の道の日当たりのよい場所です。

翅が開いた時と閉じた時では
模様が全然違うよ



【前翅長：約 35mm】



似ているチョウ
ヒメアカタテハ



【前翅長：約 30mm】

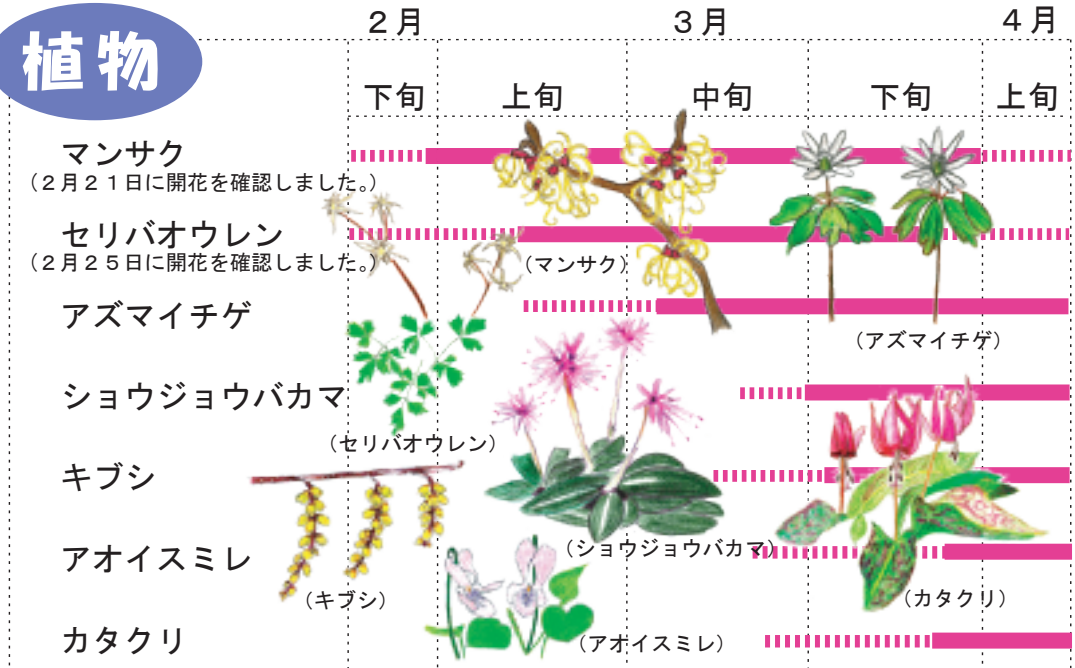
幼虫の間、アカタテハは、
カラムシやイラクサを食べ
ヒメアカタテハは、ヨモギ
を食べます。

【レンジャー：黒川周子】

* 日向ぼっこをしているチョウは他にもルリタテハ、ヒオドシチョウ、テングチョウなどが見られます

3月の生物ごよみ

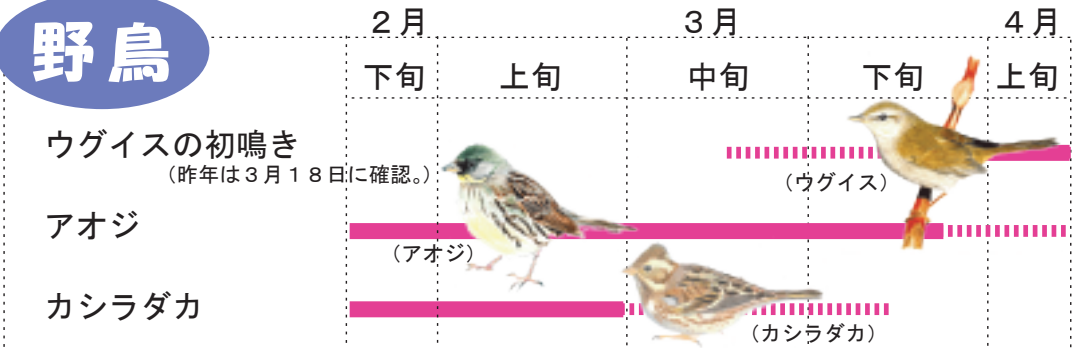
植物



2シーズン前から『バードテーブルを揺らすとエサが落ちてくる』と学習したイノシシ。昨シーズンはせっかく作ったバードテーブルが、建てて1週間ほどですべて破壊されてしまいました。今年是对策を練り、テーブル杭の根元に釘を打ち付けた板を張りめぐらせ、イノシシが掘って揺らそうとしても痛くて掘れないように作りました。このアイデアが大当たり！杭の周りが掘られる程度でバードテーブルの破壊はなんとか免れました。今後もイノシシとの知恵比べは続きそうです。



野鳥



【レンジャー：齋 正宏】



レンジャーの森の雑記帳



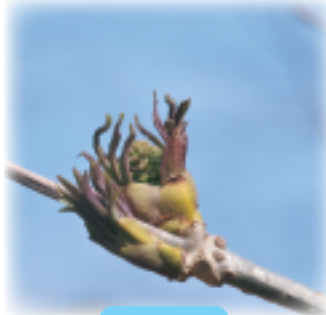
凍てついて硬く締まっていた冬の地面が緩みはじめ、足裏にようやく土の柔らかな感触が戻ってきた。3月の早春の湿った雪は降っても穏やかな春の日差しに淡く消えていく。灰色の空から差し込む弱々しかった陽は徐々に輝きを増した光に変わり、春の確かな陽光が森全体を包み込んでいた。白い雪に覆われ長い冬の眠りについていた寡黙な森も、命を繋ぐ伴侶を求めて、さえずり始めた小鳥たちの声で包まれ、まるで森自体が季節のリズムに合わせる様に律動し、森が息を吹き返す。園路の土手にも様々な植物が瑞々しい黄緑色の顔を見せてくれた。それは初めてこの世界に生まれたばかりの初々しさで、思わず心の中で「やあ、こんにちわ」と呟いてみた。

【レンジャー：阿部正明】



季節を感じて楽しむ

森の
七十二候
第12回



ニワトコ



ツノハシバミ

日差しは大部春めいてきましたが、空気はまだまだ冷たい3月。それでも森の草木はちゃんと芽生え始めています。

春になると小さな花がたくさん咲く地面を見てみてください。かわいい**ロゼット**（※参照）たちがひしめき合っています。

秋に葉っぱが落ちて寒々した姿になった木の枝もよよく見てみてください。冬芽が膨らみ、中でも花芽が大きくなっている木々に出会うことでしょう。

今年も草木の春夏秋冬1年の始まりです。なんだかワクワクしますね！

草木萌動

そ
う
も
く
め
ば
え
い
ず
る

3月1日から
5日ごろ

観察の森の草木で開花の時期を調べてみると、最も多いのが3月～5月です。実に全体の半数以上がこの3か月間で咲いています。

では、3月に芽吹きが観察できる代表的な草木を紹介しましょう。ニワトコは花芽が膨らみ、ツノハシバミは雄花序が長く垂れ下がります。ロゼットが見られるものとしては、ショウジョウバカマ、タネツケバナ、オニタビラコなどなどたくさんあります。

毎週日曜日のガイドウォークの3月のテーマは「春をさがしに」です。芽生えを観察し、春を感じてみませんか？

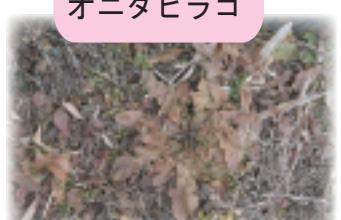
野草のロゼット



ショウジョウバカマ



タネツケバナ



オニタビラコ

【レンジャー：遠藤和子】

※根出葉（地表に近い部分から密集して出る葉）が放射状に広がり、バラの花の形になっているもの

3月のイベント & お知らせ

◆おはよう野鳥かんさつ

日本野鳥の会の加藤敬一氏と早春の雑木林を歩きながら、野鳥の声と姿を探します。

【日 時】3月10日(土)

午前6時半～8時

【持ち物】あたたかく歩きやすい服装
観察用具

(双眼鏡の貸出あり)

【申込み】不要



◆館長と森を歩こう

観察の森の館長が、早春の森の見どころをご案内します。

【日 時】3月25日(日)

午前10時～11時半

【持ち物】歩きやすい服装と靴

【申込み】不要



◆小鳥のレストラン終了間近!

えさ台に集まる野鳥を、あたたかい部屋の中から観察できます。野鳥に関するクイズに当たれば『オリジナル野鳥のしおり』がもらえます。

【期 間】3月31日(土)まで



◆早春の植物かんさつ会

宮城植物の会の井上薫氏に早春の草花を解説してもらいます。

【日 時】3月31日(土)

午前10時～12時

【持ち物】歩きやすい服装と靴

【定 員】20名

【申込み】3月6日(火)

9時より電話受付



◆森のちいさなアトリエ

準備してある材料を使って、誰でも自由にクラフトが作れます。



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

テーマ「春を探しに」

3月の開催日は

4日、11日、18日、25日です。

開催時間:午前 10:00～11:30

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のため、しばらく通行止めになります。

3月の休館日

5日、12日、
19日、26日



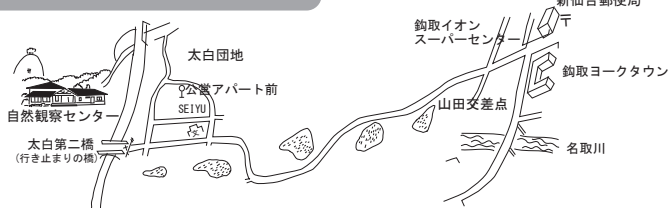
宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 7番のりば 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 3番のりば 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 6番のりば 乗車時間 約10分
- 【先行】①②③「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」)
いずれも宮営アパート前下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック!

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2018年3月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp